



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成30年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成30年2月9日(金)

事業名	特別支援教育の推進と学校施設の改善	予算(案)の概要 72、75 ページ
予算額	167,936 千円 (新規・拡充・継続) (前年度予算額 95,293 千円)	
取材先	教育委員会事務局教育支援課長 高橋(電話 03-3232-1051) 教育委員会事務局学校運営課長 菊島(電話 03-5273-3086)	

1 発達障害等のある児童・生徒への支援を強化します

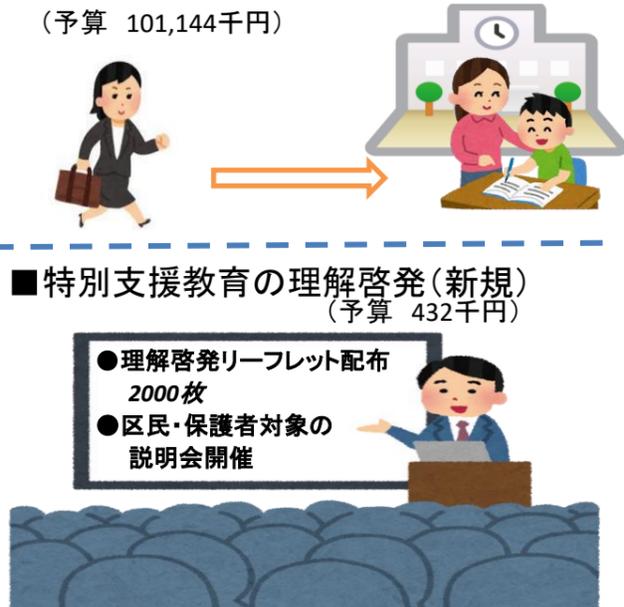
①特別支援教育を充実します

発達障害等のある児童・生徒への適切な教育的支援を強化するために、特別支援教育推進員を増員し、学級内指導体制を充実します。あわせて、リーフレットの作成や説明会の開催等により、保護者、区民等の特別支援教育に関する理解啓発に努めます。

■就学支援シートの活用促進(継続)
(予算 216千円)

■特別支援教育推進員の増員(拡充)
32名(小29名、中3名)⇒34名(小30名、中4名)
(予算 101,144千円)

- ・幼稚園
- ・子ども園
- ・保育園
- ・療育機関



②中学校へ特別支援教室を開設します

■中学校特別支援教室の先行実施(新規) 3校(西早稲田中、西新宿中、新宿中)
(予算 8,256千円)

発達障害等のある子どもが、それぞれの障害の特性に応じた指導を在籍校で受けられるよう、平成28年度に全小学校に特別支援教室『まなびの教室』を開設しました。さらに支援体制を充実させるため、平成30年度は中学校3校に特別支援教室を開設し、31年度には全中学校に展開します。



『特別支援教室』とは

通常の学級での学習に概ね参加できるが、一部特別な指導を必要とする自閉症児・情緒障害児・学習障害児・注意欠陥多動性障害児を対象に、教員が巡回することによって、特別な指導を在籍校で受けられるようにするための教室です。学級担任等と専任教員が連携しながら、生徒の状況に応じた指導を行います。

2 学校トイレの洋式化を推進します

平成32年度末までに学校施設の
トイレ洋式化率80%以上を目指します

■トイレ改修(洋式化)(新規)
(予算 57,888千円)

平成30年度から平成32年度にかけて、学校トイレの洋式化を進めます(平成30年度小学校14校)。

トイレ洋式化率

<平成29年度末>
○小学校 61.9%
○中学校 62.2%

<平成32年度末>
○小学校86.9%
○中学校91.1%

学校施設のさらなる環境改善

